

# 令和6年度 PFSを活用した認知症検診事業 評価検討会 評価結果

## 【評価検討会について】

- 開催日時: 令和7年1月16日(木) 18時～19時30分
- 評価対象: PFSを活用した認知症検診事業 ①認知機能テスト(自宅版)の実施者数の増加、②生活習慣改善プログラム(3回制)への参加者数の増加
- 受託者: エーザイ株式会社
- 評価検討会委員: 裏面のとおり

## (1) 分野評価 ※評価項目⑨は今年度の評価対象外

| 評価分野                               | 評価得点 | 評価項目   | 配点 | 評価 | 確定評価点 |
|------------------------------------|------|--|----|----|-------|
| 受託者取組の有効性<br>【配点20点】               | 15   | ① PFSに係る取組が適切に実施されたか。(検診事業のスケジュールに沿った時期、規模、手法等)  | 4  | 3  | 3     |
|                                    |      | ② 受託者の提案や取組について、創意工夫や独自のノウハウや・強みを活用できたか。   |    |    | 6     |
|                                    |      | (1)認知機能テスト(自宅版)の実施者数の増加  | 4  | 4  |       |
|                                    |      | (2)生活習慣改善プログラム(3回制)への参加者の増加  | 4  | 2  |       |
|                                    |      | ③ 対象者への周知(チラシ等)・広報を工夫し、効率的に行われたか。  | 4  | 3  | 3     |
| ④ 対象者の問い合わせへの対応は、適切に行われたか。         | 4    | 3  | 3  |    |       |
| 成果指標の適正性<br>【配点8点】                 | 6    | ⑤ 設定した成果指標Ⅰ・Ⅱについて<br>・より適切且つ取り組める目標はなかったか。<br>・成果の達成度を測定するためのデータ収集は可能なものであったか。また、受託者の事業活動以外の影響は小さいものか。 | 4  | 3  | 3     |
|                                    |      | ⑥ 成果指標の上限値や段階的支払い額の設定は、取組達成に向けて困難な数値でなかったか。  | 4  | 3  | 3     |
| PFS導入の有効性<br>【配点12点】               | 9    | ⑦ PFSを導入したことにより、既存事業(委託方式)と比較し、成果改善効果が向上したか。   |    |    | 6     |
|                                    |      | (1)認知機能テスト(自宅版)の実施者数の増加  | 4  | 4  |       |
|                                    |      | (2)生活習慣改善プログラム(3回制)への参加者の増加  | 4  | 2  |       |
| ⑧ PFS取組経費の範囲内で、効果的・効率的な予算執行が行われたか。 | 4    | 3  | 3  |    |       |
| 改善業務の<br>【配点8点】                    | 1    | ⑨ 前回の評価(前年度)における「改善すべき事項」に対して、適切な改善が図られたか。   |    |    |       |
| 40点満点                              | 30   | 点  |    |    |       |

## (2) 総合評価

|    |   |    |                |
|----|---|----|----------------|
| 評価 | C | 得点 | 30/40点満点=75.0% |
|----|---|----|----------------|

## 《評価結果の見方》

### (1) 分野評価

評価項目ごとに4段階評価を行い、全委員の平均点を取る。小数点については、小数第1位を四捨五入した点とする。

| 評 価    | 評価内容及び基準          |                        |
|--------|-------------------|------------------------|
| 4：優良   | 既存事業(委託契約方式)と比較し、 | 期待以上の成果を挙げた。           |
| 3：適当   |                   | 一定の成果を挙げた。             |
| 2：課題あり |                   | 一定の成果を挙げているが、一部に問題がある。 |
| 1：要改善  |                   | 成果に乏しく、改善が必要である。       |

### (2) 総合評価

各評価分野の得点を合計し、その合計得点を5段階で評価する。

| 評 価 | 評価内容及び基準                                    |
|-----|---|
| A   | 総合評価の結果、特に優れている。<br>(合計得点が、配点の90%以上)        |
| B   | 総合評価の結果、優れている。<br>(合計得点が、配点の80%以上90%未満)     |
| C   | 総合評価の結果、おおむね適正である。<br>(合計得点が、配点の60%以上80%未満) |
| D   | 総合評価の結果、改善が必要である。<br>(合計得点が、配点の40%以上60%未満)  |
| E   | 総合評価の結果、相当な改善が必要である。<br>(合計得点が、配点の40%未満)    |

#### 令和6年度 PFSを活用した認知症検診事業 評価検討会 委員名簿

| No. | 役職 | 氏 名    | 所 属 等                 | 備考    |
|-----|----|--------|-----------------------|-------|
| 1   | 委員 | 栗田 圭一  | 東京都健康長寿医療センター研究所 副所長  | 学識経験者 |
| 2   | 委員 | 酒井 武知  | 株式会社日本政策投資銀行 地域調査部 次長 | 専門委員  |
| 3   | 委員 | 矢島 孝幸  | 福祉部 地域包括ケア推進担当部長      | 区管理職  |
| 4   | 委員 | 瀬尾 かおり | 福祉部 高齢福祉課長            | 区管理職  |
| 5   | 委員 | 木内 恵美  | 福祉部 地域包括ケア推進担当課長      | 区管理職  |